# Canon

# レーザビームプリンタ **Satera** インテリジェントコントローラ NB-J1

# ネットワークガイド/スタート編





 <sup>◆</sup>本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
 ◆本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
 ◆本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 目次

じめにiv
書の読みかたiv
マークについて
キー・ボタンについて iv
画面についてv
略称についてv
制についてvi
商標についてvi

# 第1章 お使いになる前に

必要なシステム環境	1-2
印刷するときに必要なシステム環境	. 1-2
ネットワークで使用するために必要な作業	1-3

# 第2章 インテリジェントコントローラの取り付け

パッケージの内容を確認する	. 2-2
ケーブルを用意する	. 2-3
各部の名称と機能	. 2-5
インテリジェントコントローラを取り付ける	. 2-6

# 第3章 ネットワークで使用するには

プリンタのプロトコル設定の準備	3-2
プリンタの操作パネルによる設定	
プリンタのプロトコル設定	3-6
リモート UI による設定	
印刷を行うコンピュータの設定	
プリントアプリケーションの選択	
LPDの特徴	
Rawの特徴	
IPPの特徴	
プリンタの接続方法(LPD/Raw)	

インテリジェントコントローラの取り外し	4-2
困ったときには	4-3
インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブル	4-3
テストプリント	4-5
インテリジェントコントローラを設定する	4-6
インテリジェントコントローラの初期化	4-8
主な仕様	4-11
ハードウェア仕様	4-11
ソフトウェア仕様	4-11
索引	4-12
ソフトウェアのバージョンアップについて	4-13
情報の入手方法	4-13
ソフトウェアの入手方法	4-13

# はじめに

このたびは、キヤノン製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。インテリジェントコントローラ NB-J1 は、プリンタをネットワークに接続し、ネットワークプリンタとしてご使用いただくための製品です。

本書は、インテリジェントコントローラ NB-J1 をプリンタに取り付ける方法やプリンタをネットワークに接続する方法、ネットワーク環境で印刷するためのソフトウェアのインストールについて説明しています。本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、本書はお読みいただいた後も大切に保管してください。

# 本書の読みかた

# マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となることなどの説明に、下記 のマークを付けています。

- ▲注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注 意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項 をお守りください。
- 重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
- ※メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおす すめします。

# キー・ボタンについて

本書に記載されているキー・ボタンは、お使いの機種によって形状が異なる場合があります。 本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- ・操作パネル上のキー:[キー名称]
   例:[オンライン]
   [ユーティリティ]
- •コンピュータ画面上のボタン:[ボタン名称]
  - 例:[OK] [設定]

# 画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があ ります。

操作時にクリックするボタンの場所は、CDC(丸)で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

▲ Conon LBP6000 LIPSLX のプロパティ         ?! X           金絵         共有         ポート         詳細識定         セキュリティ         デパイスの設定         も気に入り           ●         Canon LBP6900 LIPSLX         ●	
日期するポート(2) ドキュントは、チェック ボックスがすンムなっているポートのうち、最初に利用可能なもので 日期交11ます。 ボート   説明 「 レPT2: グリンタ ボート □ LPT2: プリンタ ボート □ LPT3: プリンタ ボート	
□ com:: シリアルボート □ com:: シリアルボート □ com:: シリアルボート □ com:: シリアルボート □ 水 + com::::::::::::::::::::::::::::::::::::	- 操作時に クリックするボタン

# 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。	
Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> 2000 operating system 日本語版:	Windows 2000
Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP operating system 日本語版:	Windows XP
Microsoft <sup>®</sup> Windows Server <sup>™</sup> 2003 operating system 日本語版:	Windows Server 2003
Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> operating system :	Windows
インテリジェントコントローラ NB-J1:	インテリジェントコント ローラ

インテリジェントコントローラ NB-J1:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 規制について

# 商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Netscape、Netscape Communicator、Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation 社の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

# CHAPTER

# お使いになる前に

この章では、対応しているネットワーク環境の確認やネットワークで使用するために必要な 作業の概要など、お使いになる前に知っていただきたいことについて説明しています。

必要なシステム環境	1-2
印刷するときに必要なシステム環境	1-2
ネットワークで使用するために必要な作業	1-3

# 必要なシステム環境

本製品が対応しているシステム環境について説明しています。

# 印刷するときに必要なシステム環境

ネットワーク環境で使用して印刷するときは、以下のシステム環境が必要です。

### ■ 対応している OS

- Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版

① 重要 Windows 2000 をお使いのときは、Service Pack4 をインストールしてください。

### ■ 対応しているプロトコル

- TCP/IP
- 対応しているコンピュータ
  - •IBM PC 機/その互換機、PC-98 シリーズ

# ネットワークで使用するために必要な作業

ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
  - 次の作業を行うと、印刷を行う各コンピュータが、直接ネットワークプリンタに印刷するようになります。ネットワーク上にプリントサーバを設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、LIPSソフトウェアガイド/本編(PDF 取扱説明書)「第2章 Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。

■インテリジェントコントローラを取り付ける



### ■ プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できる ように、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれ かを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

- プリンタの操作パネル (→ P.3-3)
- ARP/PING コマンド (→ネットワークガイド/本編)

### ■ プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。設定できる項目については、「ネットワークガイド/本編」(PDF 取扱説明書)を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。

- Web ブラウザ (リモート UI) (→ P.3-6)
- FTP クライアント(→ネットワークガイド/本編)

### ■ 印刷を行うコンピュータの設定(→ P.3-21)

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。使用する プリントアプリケーションを選択し、必要な作業を行ってください。

- 重要 ネットワークで印刷するときは、以下のプリントアプリケーションが使用できます。
  - · LPD
  - $\cdot$  FTP
  - · Raw
  - ·IPP
  - · BMLinkS
- ・プリントアプリケーションとは、ネットワークを通して送られたプリント出力データを受け取り、プリンタへ出力するソフトウェアです。ネットワーク上のプリンタに印刷するためには、プリントアプリケーションが必要となります。
  - RawまたはIPPをお使いになる場合は、プリンタに付属のCD-ROMに入っている、Canon LPR2をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2のインストールについ ては、ソフトウェアの CD-ROMに入っている「Canon LPR2ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。
  - BMLinkSは、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合にのみ使用できます。

# インテリジェントコントローラ 2 の取り付け

この章では、インテリジェントコントローラの各部の名称と機能や取り付けかたなどについて、説明しています。

パッケージの内容を確認する.........................	. 2-2
ケーブルを用意する..............................	. 2-3
各部の名称と機能	. 2-5
インテリジェントコントローラを取り付ける	. 2-6

# パッケージの内容を確認する

インテリジェントコントローラを取り付ける前に、パッケージに次のものがすべて揃ってい るかどうかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合に は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



- ▲注意 ・インテリジェントコントローラを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
  - インテリジェントコントローラの取り扱いには注意してください。インテリジェントコントローラの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- ① 重要 インテリジェントコントローラには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。 ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・インテリジェントコントローラの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れない でください。
  - ・静電気の影響を避けるために、インテリジェントコントローラは取り付ける直前まで保 護袋から取り出さないでください。また、保護袋はインテリジェントコントローラを取 り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。
- を また、 本製品には、LAN ケーブルは付属していません。本製品を装着して、プリンタをネット
  ワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意
  ください。



本製品をプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、接続するネットワークの種類に応じて次のようなケーブルが必要です。あらかじめこれらのケーブルを準備してから作業を行ってください。

### ■ ネットワークの環境について

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

• 10BASE-T Ethernet ネットワークの接続例



• 100BASE-TX Ethernet ネットワークの接続例



### ■ 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合

UTP カテゴリ 3、4、5 ケーブル(両端に RJ45 コネクタが付いたシールドなしより対 線)、または STP カテゴリ 3、4、5 ケーブル(両端に RJ45 コネクタが付いたシール ドありより対線)が必要です。

### ■ 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

UTP カテゴリ 5 ケーブル (両端に RJ45 コネクタが付いたシールドなしより対線)、または STP カテゴリ 5 ケーブル (両端に RJ45 コネクタが付いたシールドありより対線) が必要です。

- 重要 本製品は、上記以外のネットワークには接続できません。
  - プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハ ブの増設が必要になります。
- シモ 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブやLAN ケーブル、コン ピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相 談センター」へお問い合わせください。

# 各部の名称と機能



### ① プリンタ接続コネクタ

プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直 接手を触れないでください。

### ② LAN コネクタ

10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブル接続 部です。

### ③ 100 ランプ(緑色)

インテリジェントコントローラが100BASE-TXで ネットワークに接続されているときに、点灯します。 10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

### ④ LNK ランプ(緑色)

インテリジェントコントローラがネットワークに正 しく接続されているときに、点灯します。

### ⑤ ERR ランプ (オレンジ色)

インテリジェントコントローラが正常に動作してい ないときに、点灯または点滅します。

### ⑥ USB ホストコネクタ

USB 機器と接続するときのUSBケーブル接続部で す。本コネクタから最大 150mA の電流を供給する ことが可能です。オプションの AC アダプタを使用 した場合は、最大 500mA の電流を供給することが できるようになります。

### ⑦ DC ジャック

オプションの AC アダプタを接続するときの DC プ ラグ接続部です。接続する USB 機器の消費電流が 150mA 以上の場合、オプションの AC アダプタを 使用して USB 機器をお使いください。

# インテリジェントコントローラを取り付ける

インテリジェントコントローラは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。インテリジェントコントローラの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。 あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

- 重要 手順中の図がお手持ちの製品と異なる場合があります。取り付け手順の詳細については、 プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。
  - 1 プリンタの電源をオフにしたあと、プリンタの電源コード、アース線を 取り外します。
- ▲注意 ・プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めな いように注意して持ち運んでください。
  - 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。(プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。)
- 🍈 重要 🔹 ・ プリンタケーブルが取り付けられているときは、プリンタケーブルも取り外します。
  - インテリジェントコントローラの抜き差しは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。電源をオンにしたままで基板を抜き差しすると、インテリジェントコントローラやプリンタを破損する恐れがあります。
  - ・作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。
     (→プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。(→プリン タまたはオプション品に付属の取扱説明書)

# **2** 拡張ボードスロットのネジを外して、保護板を取り外します。



又モ 取り外した保護版とネジは、インテリジェントコントローラを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

# **3** インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、基板を拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。



- 重要 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

# **4** インテリジェントコントローラをネジで固定します。

インテリジェントコントローラの両端を、付属の2本のネジで固定します。



# 5 プリンタを移動したときは、元の位置へ戻します。

- ▲注意 プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めな いように注意して持ち運んでください。
  - 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。
- 重要 ・プリンタ本体は、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従って持ち上げ、元の位置へ戻してください。(→プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、取り外したオプション品を元の位置へ戻してください。(→プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書)

# 6 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを、10BASE-T/100BASE-TX 端子に接続します。



✓ メモ 本製品には、LAN ケーブルは付属していません。本製品を装着して、プリンタをネット ワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意 ください。

# 7 プリンタの電源コード、アース線を接続します。

① 重要 プリンタの電源コード、アース線の接続方法については、プリンタに付属の取扱説明書を 参照してください。

# **8** 電源をオンにします。

# 2 インテリジェントコントローラの取り付け

# 9 インテリジェントコントローラのLNK ランプ(緑)が点灯していること を確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。 100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。



正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、インテリジェントコントローラの取り付け状態を確認してください。確認したあと、電源をオンにしても正常に動作しない場合は、「困ったときには」(→ P.4-3)を参照してください。

インテリジェントコントローラの取り付けが完了しました。次に、ネットワークの設定 を行ってください。(→ P.3-1)



# ネットワークで使用するには

この章では、ネットワークでプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

プリンタのプロトコル設定の準備	
プリンタの操作パネルによる設定	
プリンタのプロトコル設定	
リモート UI による設定	
印刷を行うコンピュータの設定	
プリントアプリケーションの選択	
プリンタの接続方法(LPD/Raw)	3-26

# プリン<mark>タのプロトコル設定の準備</mark>

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるよう に、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使 用して行います。使いやすい方法で設定してください。ここでは、プリンタの操作パネルを 使用してプロトコル設定の準備を行う方法について説明しています。

■ プリンタの操作パネルによるプロトコル設定の準備(→ P.3-3) プリンタのディスプレイの表示を見ながら操作パネルを使用して、プロトコル設定の準備を行います。

■ ARP/PING コマンドによるプロトコル設定の準備(→ネットワークガイド/本編) コマンドプロンプトを使用して、プロトコル設定の準備を行います。

● 重要 作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

# プリンタの操作パネルによる設定

プリンタの操作パネルを使用してプロトコル設定の準備を行う場合は、次のようなメニュー の階層を使用します。



\* 「プロトコル」は「IPモード」が「ジドウ」に設定されたとき表示されます。「アドレス」は「IPモード」が「シュドウ」に設定されたとき表示されます。

- 🕘 重要 🛛 設定を行ったあとは、必ず [設定登録] で登録操作を行ってください。 登録操作を行わな いと設定した値が有効になりません。
  - ・メニューの階層を戻る場合は、「▲」を押してください。
  - •操作パネルの設定手順の詳細については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書)巻末の メニュールートマップを参照してください。

- 1 プリンタの操作パネルで [オンライン] を押して、オンラインランプを 消灯します。
- 2 [セットアップ] を押して、[◄]、[▶] で「インタフェース」を選択したあと、[▼] を押します。
- 3 [◄]、[▶] で「カクチョウ ネットワーク」を選択したあと、〔▼] を押します。
- 4 [◄]、[▶] で「TCP/IP」を選択したあと、[▼] を押します。
- 5 [◄]、[▶] で「フレームタイプ」を選択したあと、[▼] を押します。
- 6 [◄]、[▶] で「ETHERNET 2」を選択したあと、〔▼] を押します。
- **7** IP アドレスの設定方法を選択します。
  - □ [◄]、[▶] で「IPモード」を選択したあと、[▼] を押します。
  - DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合 は、[◀]、[▶] で「ジドウ」を選択したあと、[▼] を押します。 プリンタに直接 IP アドレスを割り当てる場合は、[◀]、[▶] で「シュドウ」 を選択したあと、[▼] を押します。
- **8** プリンタの IP アドレスを設定します。
  - 手順7で「ジドウ」を選択した場合
    - □ [◀]、[▶] で「プロトコル」を選択したあと、[▼] を押して、「DHCP」、 「BOOTP」、「RARP」をそれぞれ「オン」(使用する)か「オフ」(使用しない)に設定します。
    - □ [▲] を2回押します。
- J+CP、RARP、BOOTPが使用可能かどうかのチェックは1~2分程度かかりますので、 使用しない場合は[オフ]にすることをおすすめします。
  - DHCP、RARP、BOOTPを使用してIPアドレスを割り当てるには、DHCPサーバ、RARP デーモン、BOOTPデーモンが起動されている必要があります。

- DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、 常に本製品に同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめしま す。(IP アドレスが同じでないと、本製品のホスト名と IP アドレスを対応させることが できません。)
- 手順7で「シュドウ」を選択した場合
  - □ [◄]、[▶] で「アドレス」を選択したあと、[▼] を押して、「IP アドレス」、
     「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。
  - □ [▲] を3回押します。
- - 9 [◀]、[▶] で 「セッテイ トウロク」 を選択したあと、 [▼] を押します。

操作パネルに「ジッコウシマスカ?」と表示されます。

# 10 [▼] を押します。

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

# <mark>プリン</mark>タのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から 設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。設定できる項目につい ては、「ネットワークガイド/本編」(PDF 取扱説明書)を参照して、お使いの環境や設定 したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ(リモー ト UI)を使用してプロトコル設定を行う方法について説明しています。

### ■ Web ブラウザ(リモート UI)による設定(→ P.3-6)

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

### ■ FTP クライアントによる設定(→ネットワークガイド/本編)

コマンドプロンプトを使用して、インテリジェントコントローラの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

# リモート UI による設定

Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を 入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例: http://192.168.0.215/

- 重要
   Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降、または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
  - プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、 以下のような設定を行ってください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)
     ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外](プロキシを使用しないアドレス)に 本プリンタの IP アドレスを追加します。
  - Web ブラウザでクッキー(Cookie)が利用できるように設定してください。
  - 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リ モート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。



● 9モートUI <トッ ファイル(E) 編集	7ページン:LBF5000, 192 168 0 215 - Microsoft Internet Explorer RCD 家氏公 お死(こか)の シール(ロ ヘルブの)	
* 第3 * # *	0 0 1 0 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
PFL2Q)	nu//	@1F86 15-0 **
	ビス リモート U	
	Canon	
0		9-291

- グメモ プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK]をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。
  - 3 左側の [デバイス管理] のメニューから、[ネットワーク] をクリックします。







5 [フレームタイプ] で [Ethernet II] を選択します。

クリモートUI <top ip="" p="" プロトコルbd<=""></top>	この <b>太王</b> > 1.8P9A0, 192 168 0 215 - Microso	ll Internet Explor		الم	
ファイル(日) 編集(日) 表示(1)	お気に入り(金) ウール(① ヘルプ(金)				●句:
4-58 • → • 🗿 🔄 🕼	· ③秋常 回お死に入り (日メディア ③	6-3 I I	1		
PKU2(0) +H0//				• 经租助 93	25 *
1					
0	TCP/IP プロトコル設定の	)変更			
	り下の らに協会を変通 ます	91 1		OF ANY ME	
<b>~</b>	ACTIVIA PICEDE CECCA P	•		The second	
HUSIAS-SA.	C		2		
管理者モード	フレームタイプ	Ethernet II 💌	J		
デバイス管理					
■ (大照)	IP/FDX	P******			
# 1克甲胺	IP PFUX:	192 168 0 21	5		-
● accini - 直え小りーク	サフネットマスク	0000			
11-11-1 2.1	ゲートウェイアトレス	0000			
THE ALL ST	DHCPによるアドレス設定	(オン	ペオフ		
2010.02	BOOTPICESTFLXBOE	(オン	でオフ		
リポートリンク	RARPILLOPPUABLE	ィオン	でオフ		
	-				
	E DANG / TER				
	DISISTER				
	DNST-MPFUX	0000	020220		
	DNSサー/ 動的更新	C#2			
	DNSTRZHE		_		
	DNSFX472名:	1			
Canon	3				
cullon	WINS設定				
	UNIO1" FX-0181671±	0.000	~+ , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1. 10. 10. 2. 1	•
マージが表示されました				インターネット	14

- メモ ・ [無効]を選択すると、TCP/IP ネットワーク上でインテリジェントコントローラが認識 されなくなります。
  - ・
     [無効]にしたプリンタを使用するには、「プリンタのプロトコル設定の準備」(→ P.3-2) を参照してください。

# 6 [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定します。

[IP アドレス] には、プリンタの IP アドレスを指定します。[サブネットマスク]、[ゲート ウェイアドレス] には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

クリモートUIKTOP/IP プロトコルHK ファイル(D) 編集(D) 表示(D)	20月1日 1889A0 192168 0 215 - Meroso お死に入り(金) ツール(① ヘルプ(金)	II internet Explorer			- ICI X
4-E2 - → - ② ⊡ △	③検索 画お死に入り (日メディア 3)	9-3-2-1-			10.5
PRUAR HEIME//				· (******	000 -
0-1	mg TCP/IP プロトコル設定の	)変更			
12	以下のように設定を変更します	•		OK キャンセル	1
P-0105=04. 管理者モード	フレームタイプ	Ethernet I 💌			
デバイス管理	2				
# (大阪) # 情報(	IP7FUZ :	192 168 0 215	)		1-
# 近期 東ネットワーク Alexandra	サブネットマスク . ゲートウェイアドレス :	0000	]		
FNTADE	BOOTPICよるアドレス設定	(オン	647		
サポートリンク	RARPICES PHU ABOE:	でオン	でオフ		
	2				
	DNSEDD		-	_	
	DNSサーバアトレス:	0000	e + =		
	DNS-7 M/DJEN	1.47			
	DNSF,Xイン名:	-	-		
Canon	Z				
	WINSEGE	10000			- J
のページが表示されました	UNDIO1 - FZ-0 818711	0.401		■ 129-291	-

- DHCP、BOOTP、RARPのいずれかをお使いの場合でも、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARPのサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
  - •DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定を行った場合、本製品の再起動後は、これらから取得した値が表示されます(あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARPで取得できた項目については上書きされます)。

### 7 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。[DHCPによるアドレス 設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] のうち、IPアドレスの設定に使用する項目を[オン] にします。

本製品は、プリンタに直接IPアドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPの いずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリ セット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわ かった設定方法でIP アドレスを割り当てます。[DHCP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定]を[オフ] にしたときは、その項目 のチェックは行われません。

これらがいずれも使用できないときは、[IPアドレス] に設定されている IPアドレスを割 り当てます。

タリモートUI <top ip="" p="" プロトコル設<=""></top>	定の更更>: LBP9900, 192 168 0 215 - Microso	ott änternet Eugikeer	_ IO X
ファイル(1) 編集(1) 表示(1)	お気に入り(金) ツール(① ヘルブ(出)		#R
◆ 戻る・ → ・ ◎ ⊡ 心	◎秋茶 回お死に入り ◎メディア ④	4-9-3 I	
Pドレス(型) (1) HHは//			• さいわ リンク **
0	🎬 TCP/IP プロトコル設定(	の変更	
	以下のように設定を変更します		OK キャンセル
NO205-54.	フレールタイプ・	Ethernal T. W	
管理者モード		Trougher = =1	
5/6/280 L	2		
a Jitati	IP7FLX		
# 11 HR	IPアドレス:	192 168 0 215	
# 装備	サブネットマスク	255 255 255 0	
<u>▲ネットワーク</u>	H-L-1-1713.7	102160.0.1	
LECEV	DHCPによるアドレス設定:		
FINALLE	BOOTPによるアドレス設定	・ クオン ・ クオフ	
サポートリンク	RARPによるアドレス設定	トオン ドオフ	
			1
	N		
	DNSIM		
	DNSサーバアドレス	0000	
	DNSサーバ動的更新	○オン ○オフ	
	DNS市スト名		
	DNSF:メイノ名:		
Canon	E		
canon	WINS設定		
	UNELO (* 1 Z -0 808715	0+1 0+7	-
ページが表示されました			129-29F

- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは1~2分程度かかりますので、
   使用しない項目を[オフ] にすることをおすすめします。
  - DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、 BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。
  - DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、 常に本製品に同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめしま す。(IP アドレスが同じでないと、本製品のホスト名と IP アドレスを対応させることが できません。)

# B DNS サーバ、DNS の動的更新機能を使用する場合は、DNS を設定します。

これらを使用しない場合は、手順9に進みます。

12) 📳 HANG//				· 2154
2	TCP/IP プロトコル設定の	り変更		
5	以下のように設定を変更します	-		OK キャンセル
ドリン(パージィ、 管理者モード	フレームタイプ	Ethernet I		
デバイス管理	2			
10	IP7Fレス			_
19段	IPアドレス	192 168 0 215		
EIM	サブネットマスク	255 255 255 0		
11-1-111	ゲートウェイアドレス	192 168 0 1		
22222	DHCPによるアドレス設定	<u>で</u> オン	Cオフ	
THALE	BOOTPICEOPFUZBOE	: (オン	・オフ	
パートリンク	HARPILLO / FUXBOE	632	032	
	DNS221	_	_	_
	DNSサーバアドレス	0000	-	
	DNSサーバ動的更新	イオン	ドオフ	
	DNSホスト名		-	
	DNSドメイン名:	-	-	
Onnon	2			
Сапоп	Juna united in the		_	_
	WINDERAL			

- □ [DNS サーバアドレス] に、DNS サーバの IP アドレスを入力します。
- □ DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合は、[DNS サーバ動的更新] を [オン] に設定します。

動的更新機能を使用しない場合は、「オフ」に設定します。

- 重要 •DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を 自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、ダイナミック DNS サーバがあ る環境で使用することができます。
  - DNS の動的更新機能を使用するには、DNS サーバの IP アドレスと本製品のホスト名・ドメイン名の設定が必要です。
  - この機能を使用して、LPR で [DNS ホスト名] と [DNS ドメイン名] を指定することで、 本プリンタの IP アドレスを固定しなくても使用できるようになります。
  - □ [DNS ホスト名] に、DNS サーバに登録する本製品のホスト名を設定します。
  - □ [DNS ドメイン名] に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例:sales\_dept.xyz\_company.co.jp

- 🧭 **メモ** 本製品では、DNS は以下の場合に使用されます。
  - ・DNSの動的更新機能を利用するとき([DNSサーバ動的更新]を[オン]に設定したとき)
  - SMTP サーバ名の名前解決を使用するとき(手順 13 で SMTP サーバを名前で指定したとき)

# 9 WINS の設定を行います。

(小田 編集田 表示型	お気に入り(金) ツール(① ヘルブ(金)			
R5 · → · ③ 🖸 🖄	() 株常 回お死に入り () メディア ③	6-3-3-5	1	
12(0) (1 HMb//			· (*)	日約 リンさ
	-			
0	WINS	_		
1	WINSによる名前解決	マオン	C#7	
	WINSサーバアドレス	0000	-	
HUSIAS-SA.	WINST 21-8	10000	-	
管理者モード	スコープル	-		
		ll ait		
デバイス管理	3			
「状態	L PD SYSE	_		1
1 百里校	LODEDRI .	a + 1	c + 7	- 2
accim レス・ル・コーク	( PD/ (+	147	-	
1111111		145	2	
TISC2 12	치			
Hard States	IPP502	_		
9m-1999	IPPERIAL ·	6オン	C オフ	1
	IPP プリンタのURL	printer		
	2			
	RAW設定			
	RAWED限1	ドオン	(オフ	
	Rawモート双方向通信機能	(オン	e # 7	
-	2			
Canon	SMTP			
	SMIPサーバアドレス	1		

● WINS による名前解決を使用する場合

- □ [WINS による名前解決] を [オン] に設定します。
- □ [WINS サーバアドレス] に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。
- □ [WINS ホスト名] に、WINS サーバに登録するホスト名を入力します。
- □ [スコープID]に、WINS サーバから検索したい NetBIOS 名のスコープIDを 入力します。

文字列をドットで区切って入力することで、絞込検索が行えます。

- WINS による名前解決を使用しない場合
  - □ [WINS による名前解決] を [オフ] に設定します。

# **10** LPD を設定します。



参りモートUI <top ip="" th="" プロトコル設備<=""><th>2の夏夏&gt; 1899/00, 192 168 0 215 - Microso</th><th>I Internet Explorer</th><th></th><th>_IDI ×</th></top>	2の夏夏> 1899/00, 192 168 0 215 - Microso	I Internet Explorer		_IDI ×
77イル(日) 編集(日) 表示(1)	お気に入り(金) ツール(日) ヘルブ(金)			#R
4-E2 • + • 0 ⊡ Q	③秋常 回お死に入り (9メディア ③)	P-940		
アドレス(型) (創 Hitter//				• ご いわわ リンク **
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	3			-
5	WINS設定			
	WINSによる名前解決	・オン	にオフ	
	WINSサーバアドレス	192 168 1 1	-	
HORSENSAL	WINSホスト名:	example	1	
管理者モード	スコープID			
Transmill				
テハイス管理	Ē			
# (A.R.s) # 卡斯森区	LPD設定			
• 法侧	LPDERMB :		ぐオフ	
コネットワーク	LPD/ (+-	17	-	
LEGEV		10000		
FIN1222	2			
10#-i-1120	IPP設定			
	IPPE[I]		Cオフ	
	IPPプリンタのURL	printer		
	N			
	RAW設定			
	RAWED缩1:	・オン	Cオフ	
	Rawモード双方向通信機能	(オン	@オフ	
Gaman	2			
Callon	SMTP			
n de la construction de la const	SMTPサーバアドレス	1		

- □ [LPD 印刷] を [オン] に設定します。
- □ [LPD バナー] で、バナーページ (各プリントジョブの区切りページ) の出力 方法を選択します。

選択する項目

自動:	バナーページを出力するように設定されているプリントジョブ
	のときは、バナーページを出力します。設定されていないプリン
	トジョブのときは、バナーページを出力しません。

- オン(最後に挿入): プリントジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバ ナーページを出力します。バナーページは、最後のページに出力 されます。
- オフ:
   プリントジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバ ナーページを出力しません。
- プリントアプリケーションとして LPD を使用しない場合
  - □ [LPD 印刷] を [オフ] に設定します。
- ⊘ メモ お使いの OS や LPR によっては、バナーページの出力を設定できないことがあります。
   このようなときに、〔自動〕以外に設定することで、バナーページの出力を設定すること
   ができます。

# 11 IPP を設定します。

🖉 방モートUI < TCP/IP プロトコル政	定の更更>: LBP9900, 192 168 0 215 - Microso	I Internet Explore	,	_10 ×
77イル(日 編集(日) 表示(1)	お気に入りの ツール田 ヘルプロ			(ER)
4-E2 • + • • • • • • • • • • • • • • • • •	◎秋常 回お死に入り ◎メディア ④	9-3-1 B		
アドレス(型) (1) HHD//				• ご相助 リンク **
1	I			-
5	WINS設定			
	WINSによる名前解決:	・オン	「オフ	
0	WINSサーバアドレス	192 168 1 1	-	
HUSERSHOP.	WINSホスト名	example		
管理者モード	スコープID :	Г <u>.</u>		
デバイス管理	3)			
# 1大雨雪	II PDS/20	_	_	
# 191912	LEDEDINI	0 x 1	0.47	
- タネットワーク	LPD/ (+-	17	-	
13 200		1.55		
ind-illing	IPP 設定			
200-1777	IPPER() :		Cオフ	
	IPP ポリンタのURL	printer		
	Z			
	RAW設定			
	RAWED限1	ドオン	Cオフ	
	Rawモード双方向通信機能	(オン	『オフ	
Gaman	J			
Canon	SMTP			
	SMTPサーバアドレス	1		-
のページが表示されました				インターネット ル

### ● プリントアプリケーションとして IPP を使用する場合

- □ [IPP 印刷] を [オン] に設定します。
- □ [IPP プリンタの URI] を指定します。
- **ダメモ** 通常は、変更する必要はありません。
  - プリントアプリケーションとして IPP を使用しない場合
     □ [IPP 印刷] を [オフ] に設定します。

9E-FULKTOP/IP JOFS/MR	このよモ> LBP9A0, 192 168 0 215 - Microso	I internet Explore	7	_10
77170 MAD &TW	340 (100 7-10 A170)	A. Chert Di	1	
PKU2(0)	- 10 18 M (10 0741/ 10 1747 17 10 1	6. <b>9</b> 19 2	I	• 210m 0.2
and the second sec	10			2.1 C 1999 1999
m				
Y)		cat.	C #22	
6	WINSLEAS - DEBAR/X	1.4.7	- 137	
HOPER-MA.	WINSY - TOPDA:	192 108 1 1	-	
管理者モード		example		
	XJ-70	(Prot		
デバイス管理				
■ 状態	L PD598	_		-
# 1月9日 24-04	L DDE GRA	0+11	C+2	
「おたい」	I PD/S+-	1. 37	-	
111111	LPD 0	142	2	
<b>W1603.03</b>	2			
territ - 1 Haven	IPP STC	_	_	
	IPPERIA:	0オン	Cオフ	1
	IPP プリンタのURL	printer		
	-			
	RAW設定			
	RAWE[78]	・オン	Cオフ	
	Rawモード双方向通信機能	・クオン	#オフ	
Canon	<u>ک</u>			
Canon	SMTP			
	SMTPサーバアドレス			and the second

### ● プリントアプリケーションとして Raw を使用する場合

- □ [RAW 印刷] を [オン] に設定します。
- □ 双方向通信を行うときは、[Raw モード双方向通信機能]を[オン]に設定します。

双方向通信を行わないときには、「オフ」に設定します。

✓ メモ 通常は、変更する必要はありません。

### ● プリントアプリケーションとして Raw を使用しない場合

□ [RAW 印刷] を [オフ] に設定します。

# 13 紙づまりが起きた場合などに、プリンタ状況を電子メールで送信する機能を利用するときは、SMTPを設定します。

Image: Strip           BATER - F           SMTPサーバアドレス:           Image: Strip           SMTPサーバアドレス:           Image: Strip           SMTPサーバアドレス:           Image: Strip           SMTP           SMTAL           SMTAL	
yritーi-i-リンク ビル名: ビル名: 階数:	
JUSTA	
■ ■ アクセスポート59字	
リモートUI ボート群号: 100 (1-65535) SMS ボート番号: 1000 (1-65535)	

● 手順 8 で DNS を設定したとき

□ [SMTP サーバアドレス] に、メールサーバのサーバ名を入力します。

入力例:mail\_server.sales\_dept.xyz\_company.co.jp

● 手順8 で DNS を設定していないとき

- □ [SMTP サーバアドレス] に、メールサーバの IP アドレスを入力します。
- [DNS ドメイン名] に、SMTP サーバに送るメールの送信元ドメイン名を入 力します。

入力例:sales\_dept.xyz\_company.co.jp

⊘ メモ この機能を利用するときは、さらに詳細な設定を行う必要があります。詳しくは、ネット ワークガイド∕本編(PDF 取扱説明書)「第 2 章 ネットワークで使用するには」を参照 してください。

# 14 時刻情報を得るために SNTP クライアント機能を利用するには、SNTP を設定します。



● 手順8 で DNS を設定したとき

□ [SNTP サーバアドレス] に、SNTP サーバのサーバ名を入力します。

● 手順8 で DNS を設定していないとき

□ [SNTP サーバアドレス] に、SNTP サーバの IP アドレスを入力します。

# 15 BMLinkSを設定します。

	-1		and the rear of
1			
2	SMIP	Proposition and a second	
5	SMIPT-//PFDA:	jam (p.example.co.p	
HOLEASTON.	E		
管理者モード	SNTP		
	SNTPサーバアドレス	untp.example.co.jp	
デバイス管理			
■ 177,955 • +###C	Ē		
· 法强	BMLinkS設定		
1ネットワーク	BMLinkS		
UICER.	Discovery送信間隔:	30分 •	
<b>FIG2 0</b> 2	会社/組織名:	<b>_</b>	
int-illing	部門名:	<b>_</b>	
9m-1929	ビル名		
	階数:		
	ブロック名		
		19	
	2		
	アクセスボート設定		
	リモートリボート番号:	80 (1-65535)	
		The second se	

- BMLinkSは、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合にのみ使用できます。
  - プリンタがTIFFプリント機能をサポートしていない場合は、リモートUIからBMLinkSを 設定することはできません。

### ● BMLinkS を使用する場合

- □ [BMLinkS] を [オン] に設定します。
- □ [Discovery送信間隔] で、プリンタの機器情報をネットワークに送信する間 隔を設定します。

30分、1時間、3時間、6時間、12時間、24時間から選択できます。

□ 必要に応じて、[会社 / 組織名]、[部門名]、[ビル名]、[階数]、[ブロック名] を設定します。

### ● BMLinkS を使用しない場合

□ [BMLinkS] を [オフ] に設定します。

# 16 アクセスポートを設定します。

リモート UIや SMS を起動するときに指定するポート番号は、本項目で設定した値を使用します。

ご         ご	PKL200 (1) Hate//			· State Insta
SMTP           SMTRAL           SMTRAL           SMTRAL           SMTRAL           SMTP           SMTH	ALL PARTY IN THE PARTY	3)		TT 6. 1640 1999
SMIPサーバアドレス: Imtgenandscop       Batter F       SMIP       Frage F       SMIP       FATTAT       SMIP       SMIP <th>- An  </th> <th>SMTP</th> <th></th> <th></th>	- An	SMTP		
あったに=ジェ         ご           第月後日         SNTP           5/11/2012         SNTP           5/11/2012         SNTP           1/2012         SNTP           2	2	SMTPサーバアドレス:	amtp.example.co.jp	
使用者を一F         SNTP           デバイス留画         SNTPサーバアドレス: (subpresemple co.go)           ● 活躍 ● 活躍 ● 活躍 ● 活躍 ● 活躍 ● 活躍 ● 活動:InXSSDE ■ BMLinXS: 0 オフ Discours/注間問題: 3時夏 ■ 会社/相場名: [Cample 回答: [Cample 描数: ] フロック名:           ジゴーキリング         デクセスルートの空 リモートロ:ボート番号: [20] (1-65535) SMS ボート番号: [20] (1-65535)	HOLIASHDA.	2		
5パイス信誉     SMTPサーバアドレス: 「いちゅsample color       ● 活般     ●       ● 活般     ●       ● 活像     ●       ● ボット・フ     ●       ● パイン     ●       ● ボット・フ     ●       ● パイン     ●       ● パイン     ●       ● パイン     ○       ● パイン     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●       ●     ●    ●	管理者モード	SNTP		
・ 計除     ・       ・ 計除     ・       ・ 計量     ・       ションコュ     シム・ハン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Transm 1	SNTPサーバアドレス	untp.example.co.jp	
● (7%) ● (7%) ● 法律 ● 法律 ■ 法律 ■ 法律 ■ MultinkS(5) ■ Multin	テハイス管理			
	■ 3天照ら - 4年4日	E		
■ DBLinkS:	· 1月7家 · 法存储	BMLinkS設定		
ジョウヨュ         Decovery送信問題: 3時夏 ]           ブバイスルボ         空ボー: リック           ヴボー: リック         空ボー: 「しゅうゆ           ビル名:         Example           増数:         フロック名:           ブロック名:         ワロートロンク           デクロズボートの空         リモートロ: ボート番号: 100 (1-65535)           SMS ボート番号:         100 (1-65535)	#ネットワーク	BMLinkS :	・オン ・・オフ	
アパイカ         会社/組織名:         Example           サポードリンク         部門名:         Example           増売:         Example           増数:         丁ロック名:             アクセスパート設定           リモートロ:ボート番号:         100 (1-65535)           SMS:ボート番号:         100 (1-65535)	2012/11	Discovery送信間隔:	3時里 •	
フォー・リック     部門名:     Comple       ウォー・リック     ビル名:     Comple       階数:     フック名:        マック名:        アクセスルート30定     リモートロボート番号:     回00 (1-65535)       SMS:ボート番号:     第000 (1-65535)	70144504	会社/組織名:	Example	
	Thursday	部門名:	Example	
階数: ブロック名: アクセスポートの定 リモートUI ポート番号: P00 (1-65535) SMS ポート番号: P000 (1-65535)	<u>9</u> #-+999	ビル名・	Example	
プロック名 アクセスペート30定 リモートUIボート番号: № (1-65535) SMSボート番号: №00 (1-65535)		時数·		
「 デクセスポートED定 リモートUIボート番号: № (1-65535) SMSボート番号: № (1-65535)		ブロックター		
アクセスボートIO定 リモートUI ボート語号: F00 (1-65535) SMS ボート番号: F000 (1-65535)		10110		
アクセスポート改定 リモートUIボート番号: № (1-65535) SMSボート番号: №00 (1-65535)				
リモートUIボート番号: poo (1-65535) SMSボート番号: poo (1-65535)		アクセスボート設定		
SMSボー語号: 10000 (1-65535)		山王一山田水一山原县。	20 (1-65525)	
OWD 11-11-18-5		いたポート第号。	000 (1-00000)	
		0000 11 -1-88-5 1	journa (1=03030)	
Canon	Canon			

- □ [リモート UI ポート番号] に、リモート UI に接続する場合のポート番号を設定 します。
- [SMS ポート番号] に、SMS (Service Management Service) に接続す る場合のポート番号を設定します。
- Web ブラウザからリモートUIやSMSを起動する場合、URL に「http:// <プリンタのIP アドレス> /」と入力したとき、ポート番号は80(HTTPのデフォルトポート番号)を 指定したものと見なします。本項目で[リモートUIポート番号]と[SMSポート番号]
   を「80」以外に設定した場合、Web ブラウザからリモートUIやSMSを起動するとき に、ポート番号を指定することが必要となります。
  - •通常は、[リモート UI ポート番号] と [SMS ポート番号] を変更する必要はありません。
  - SMS については、「アプリケーション管理機能ガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。

# 17 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

[キャンセル]をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

E3 · + · () () ()	(2根素 (日本死に入り (日メディア (3	R	a	
120) 1 Hts//			-	· @1546 1
5	🎬 TCP/IP設定の変更			
5	以下のように設定を変更しま (設定変更は次回主電源オン	す。 時より有効とない	ほす。)	OK FWYER
ドックス(パージル) 管理者モード	DHCPによるアドレス設定:	ドオン	C オフ	
terrar approximation	RARPによるアドレス設定	Cオン	ドオフ	
デバイス管理	BOOTPによるアドレス設定:	にオン	ドオフ	
植粗	IP7FLA:	192 168 0 215		
ネットワーク	サブネットマスク	255 255 255 0		
202233	ゲートウェイアドレス:	192.168.0.1		
デバイスした	DNSプライマリサーバアドレ	192 168 0 199		
サポートリンク	Z: pupetr (ditter) (Zia			
	Z:	192.168.0.198		
	DNSホスト名	example		-8
	DNSドメイン名:	example.co.jp		
	DNSの動的更新。	にオン	*オフ	
	WINSによる名前解決:	でオン	¢ オフ	
	WINSサーバアドレス:	0.0.0		
	スコープID			
Canon	100 (511)0	0.411		
	ADP/PING	1.42	1.07	AL (1159-1

**18** インテリジェントコントローラのリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

インテリジェントコントローラのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効に なります。

- シモ・インテリジェントコントローラをリセットするときは、左側の[デバイス管理]のメニューから[ネットワーク]をクリックしたあと、[リセット]ボタンをクリックします。
  - インテリジェントコントローラのリセットによって、アプリケーションのデータやライセンスファイルなどが消去されることはありません。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

# 印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

### ■ TCP/IP ネットワークに接続する

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアをインストールして、 TCP/IPネットワークが使用できるようにします。詳しくは、OSの説明書を参照してく ださい。

# プリントアプリケーションの選択

本プリンタをネットワークで使用する場合、以下のプリントアプリケーションに対応しています。

- LPD
- Raw
- IPP
- FTP
- BMLinkS

次の「プリントアプリケーション診断」を参考にして使用するプリントアプリケーションを 決めて、必要な作業を行ってください。

- ・プリントアプリケーションとは、ネットワークを通して送られたプリント出力データを受け取り、プリンタへ出力するソフトウェアです。ネットワーク上のプリンタに印刷するためには、プリントアプリケーションが必要となります。
  - プリントアプリケーションによって、プリンタの接続先の設定が異なります。プリンタの 接続先の設定は、プリンタドライバをインストールしたあとに行います。
  - BMLinkS は、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合にのみ使用できます。

■ プリントアプリケーション診断



- LPD の特徴を詳しく理解するには [LPD の特徴] (→ P.3-23) を、設定を行うには 「プリンタの接続方法 (LPD/Raw)] (→ P.3-26) を参照してください。
- Raw の特徴を詳しく理解するには「Raw の特徴」(→ P.3-24) を、設定を行うには「プリンタの接続方法(LPD/Raw)」(→ P.3-26)を参照してください。
- IPP の特徴を詳しく理解するには「IPP の特徴」(→ P.3-25) を、設定を行うにはネットワークガイド/本編(PDF 取扱説明書)「第2章 ネットワークで使用するには」を参照してください。
- •BMLinkSの特徴や設定方法については、ユーザーズガイド(PDF 取扱説明書)「第2章 プリンタの使いかた」を参照してください。

- •FTP クライアントソフトウェアを使用して、印刷を行うこともできます。FTP クライアントソフトウェアを利用して印刷を行う方法は、ネットワークガイド/本編(PDF 取扱説明書)「第2章ネットワークで使用するには」を参照してください。
  - RawまたはIPPをお使いになる場合は、プリンタに付属のCD-ROMに入っている、Canon LPR2 をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2 のインストールについ ては、ソフトウェアの CD-ROM に入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。
  - •同じ設定で異なるプリンタに印刷するには、印刷するプリンタが BMLinkS 対応機器であ る必要があります。
  - ネットワーク上にプリントサーバを設定することによって、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替プリンタドライバをインストールしておくと、各コンピュータはプリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。これらの設定は、LIPS ソフトウェアガイド/本編(PDF 取扱説明書)「第2章 Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。



LPDは TCP/IP プロトコルのネットワーク環境で、一般的に使用されています。

- LPD 印刷のメリット
   印刷時にバナーを出すことが可能です。
   印刷実行時にプリンタを再起動してしまった場合、プリントジョブを再送信するため、印
   刷が保証されます(印刷時にバイトカウントを設定した場合)。
- LPD 印刷のデメリット プリントジョブの詳細情報を取得することができません。
- LPD 印刷を推奨するご利用例 複数人数でプリンタを共有する場合、バナーを使用すると誰の印刷結果であるかの判断が しやすいため、LPD をおすすめします。
- LPD の設定方法は、「プリンタの接続方法(LPD/Raw)」(→ P.3-26) を参照してください。



Raw を利用すると、LPD より速く印刷できます。

- Raw 印刷のメリット 他のプリントアプリケーションに比べ、最も早く印刷します。 設定が最も簡単に行えます。
- Raw 印刷のデメリット プリントジョブの詳細情報を取得することができません。
- Raw 印刷を推奨するご利用例 プリンタの設置後すぐに使用したい場合は、Raw をおすすめします。

Raw の設定方法は、「プリンタの接続方法(LPD/Raw)」(→ P.3-26) を参照してください。



IPP を利用すると、LAN(社内ネットワークなど)上のプリンタだけでなく、インターネットを経由して、遠隔地にあるプリンタにも印刷できます。

- IPP 印刷のメリット インターネット上のプリンタに対して、印刷を行うことができます。
   また、プリントジョブやプリンタに関する情報を取得することができます。
- IPP 印刷のデメリット 他のプリントアプリケーションに比べ、印刷に比較的時間がかかります。
- IPP 印刷を推奨するご利用例 インターネット越しに、遠隔地のプリンタに印刷結果を出力する場合、IPP 印刷をおすす めします。

IPP の設定方法は、ネットワークガイド/本編(PDF 取扱説明書)「第 2 章 ネットワーク で使用するには」を参照してください。

# プリンタの接続方法(LPD/Raw)

**ダメモ** ここでは、Windows 2000の画面例で手順を説明します。

# ■新規にプリンタドライバをインストールするとき

# プリンタドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド/本編(PDF 取扱説明書)「第2章 Windowsから印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、プリンタドライバをインストールします。

上記手順でプリンタドライバをインストールした場合、プリントアプリケーションは Raw となります。LPD をお使いになる場合は、上記手順でプリンタドライバをインス トール後に、以下の「プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更すると き」の手順に従って、ポートを変更してください。

### ■プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

# Canon LPR2 を利用してポートを変更します。 Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 に進みます。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの 変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユー ザーズガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。

Canon LPR2 を利用する場合、これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が 完了します。

- 🕐 重要 🔰 Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、[LPR キュー名] に [lp] を入力してください。
- Ø メモ Canon LPR2 をインストールしなくても、OS に標準の機能で LPD と Raw を設定でき ます。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順2~12を参照してください。

# **2** [プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。 Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリ ンタと FAX] を選択します。

Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタと FAX]の順にクリックします。

[プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダが表示されます。

# 3 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

- 4 [ポート] タブをクリックして、[ポート] ページを表示します。
- 5 [ポートの追加]をクリックします。

		79.79	-		
	プリンタ ポート				
LI LPT2:	フリンタ ポート プロンタ ポート				
COM1:	シリアル ポート		-	]	
COM2:	シリアル ポート				
	シリアル ポート		-	1	
ポートの追	加田	ポートの削除( <u>D</u> ) / ポ	ートの構成( <u>C</u> )		

6 [利用可能なプリンタポートの種類]から [Standard TCP/IP Port]を 選択したあと、[新しいポート]をクリックします。

22.00 1			?
川用可能なポートの種類	(A):		
Local Port			
PDF Port			
新しいボートの種類(N).	. <b>(</b> )	」いポート(P)	キャンセル

7 [次へ] をクリックします。





8 [プリンタ名またはIPアドレス]にプリンタのIPアドレスまたは名前を入 力したあと、「次へ」をクリックします。

標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザード	×
<b>ポートの追加</b> どのデバイスに対するポートを追加しますか?	
希望のデバイスのプリンタ名または IP アドレス、およびポート名を入力してください。	
プリンタ名または IP アドレス(A): 1921680.215	
#-1-2(P):	
(東3個) (次へ位	)> ++>tll



# 9 入力した IP アドレスのプリンタがあることが確認されて [標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了]ウィンドウが表示されたら、 [完了] をクリックします。

画面に「ポート情報がさらに必要です。」と表示されたときは、画面の指示に従って再検索 を行うか、[デバイスの種類] で [標準] → [Canon Network Printing Device with P9100]を選択したあと、[次へ]をクリックします。

# 10 [閉じる] をクリックします。

	<u>.</u>
明用可能なボートの種類(A):	
Local Port	
PDF Port Standard TOP/IP Port	
CARLING AND	
	<b>V</b> .
新しいポートの種類(N)	新山,)ポート(P)

LPDを使用する場合は、手順11に進みます。 Rawを使用する場合は、[OK]をクリックします。これでプリンタドライバのインストー ルとポートの設定が完了しました。

# 11 LPDを使用する場合は、ポートの構成情報を変更します。

プリンタプロパティダイアログボックスで、[ポートの構成]をクリックします。

ボート	1.00	プリンタ			
COM2:	シリアル ポート				
	シリアル ボート			-	
FILE:	ファイルへ出力				
✓ IP_192.1.	Standard TCP/IP Po	rt Canon LBP	5900 LIPSLX		
LI D:¥Docu.	. PDF Port	Acrobat Dis	stiller	-	
ボートのぇ	追加①   ポー	-トの肖川余(D)	ボートの構成(©)		

□ [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR 設定] の [キュー名] に [lp] と入力したあと、[OK] をクリックします。

(一卜名(里):	IP_192.168.0.215	
リンタ名または IP アドレス	( <u>A</u> ): 192.168.0.215	
プロトコル	y	
Raw 設定		
ポート番号( <u>N</u> ):	9100	
LPR 設定		
キュー名(Q):	lp.	
LPR バイト カウント	を有効に9ついど	
SNMP ステータスを	自効にする(S)	
コミュニティ名(C)	public	
SNMP FILL 2	F	

# **12** [OK] をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

# 付録



この章では、インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブルの解決方法やソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

インテリジェントコントローラの取り外し	4-2
困ったときには	4-3
インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブル	
テストプリント	
インテリジェントコントローラを設定する	
インテリジェントコントローラの初期化	
主な仕様	4-11
ハードウェア仕様	
ソフトウェア仕様	
索引	4-12
ソフトウェアのバージョンアップについて	4-13
情報の入手方法	
ソフトウェアの入手方法	

# インテリジェントコントローラの取り外し

インテリジェントコントローラの取り外しは、次の手順で行います。インテリジェントコントローラの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

- ▲注意 ・必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェース ケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業 を行うと、感電の原因になることがあります。
  - インテリジェントコントローラの取り扱いには注意してください。インテリジェントコントローラの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
  - 1 プリンタの電源をオフにします。
  - **2** LAN ケーブルや電源コード、アース線を外します。
  - 3 拡張ボードスロット周辺のアクセサリーが取り付けられている場合は、 作業しやすいように取り外したあと、プリンタの拡張ボードスロットを 正面に向けます。
- 重要 ・作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。(→プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。(→ プリン タまたはオプション品に付属の取扱説明書)
  - 4 インテリジェントコントローラの固定ネジ(2本)を外します。
  - **5** インテリジェントコントローラを引き抜きます。
  - **6** 拡張ボードスロットの保護板を取り付けたあと、ネジで固定します。
- 重要 取り外したインテリジェントコントローラは、必ず保管しておいた保護袋に入れてください。

# 困ったときには

# インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブル

インテリジェントコントローラ取り付け時の動作確認で、インテリジェントコントローラの ランプがすべて消灯していたり、ERR ランプがいつまでたっても消灯せず、点灯や点滅し 続けているときは、次のように対処してください。

● メモ ・インテリジェントコントローラがネットワークに正しく接続されて正常に動作しているときは、電源オンから数秒間 ERR ランプが点灯したあと、消灯します。

# インテリジェントコントローラのランプがすべて消灯している

- 原因1 LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している
- 処置1 LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
- **処置2**他のLANケーブルに交換し、接続しなおします。
- 原因2 ハブの UP-LINK(カスケード)ポートに接続している
- 処置1 ハブの "X"マークのあるポートに接続しなおします。
- **処置2** ハブに UP-LINK(カスケード)スイッチがある場合は、"X"側に切り替えます。
- **原因3** クロスタイプのLAN ケーブルを使っている
- **処置1** ストレートタイプのLAN ケーブルと交換します。
- **処置2** クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK(カスケード)ポートに接続します。ハブに UP-LINK(カスケード)スイッチがある場合は"="側にします。
- クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用
  するケーブルのことです。
- 原因4 ハブと通信できない
- 処置1 ハブの電源がオンになっていることを確認します。
- 処置2 接続したハブの通信速度に合わせてインテリジェントコントローラのディップス イッチを設定します。(→インテリジェントコントローラを設定する: P.4-6)
- 処置3 ハブを交換します。

**4** 付録

<sup>•</sup>ネットワーク環境で使用して印刷するときのトラブルについては、「ネットワークガイド /本編」(PDF 取扱説明書)を参照してください。

- 原因5 インテリジェントコントローラが正しく取り付けられていない
- 処置 インテリジェントコントローラを一度取り外し、取り付けなおします。
- 原因6 インテリジェントコントローラのハードウェアに異常がある
- 処置 お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

### インテリジェントコントローラの ERR ランプが点灯し続けている

- **原因** ネットワークケーブルの接続不良や断線、あるいはインテリジェントコントロー ラが正しく取り付けられていない
- 処置1 ネットワークケーブルが正しく取り付けられているか確認してください。
- **処置2** ネットワークケーブルを正常に使えるものと交換し、断線や破損がないか確認してください。
- **処置3** 上記の操作を行っても ERR ランプが点灯するときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

### インテリジェントコントローラの ERR ランプが 4 回ずつ点滅している

- 原因 インテリジェントコントローラのディップスイッチ 1 がオンになっている
- **処 置** 一度ディップスイッチ1をオフにしてください。

### インテリジェントコントローラの ERR ランプが点滅し続けている

- 原因1 ファイルシステムにエラーが発生している。
- 処置 ファイルシステムをフォーマットしてください。(→リモート UI ガイド (PDF 取扱説明書))
- 原因2 インテリジェントコントローラのハードウェアに異常がある
- 処置 お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

# テストプリント

次の操作を行うことで、拡張 I/F プリントが印刷されます。拡張 I/F プリントには本製品の バージョンや TCP/IP の設定などが印字されます。

ダ ▼
 プリンタの電源を入れてからインテリジェントコントローラが完全に起動するまでには、およそ1分かかります。インテリジェントコントローラが完全に起動する前に拡張I/Fプリントを実行しても、拡張I/Fプリントが印刷されない場合がありますので、プリンタの電源を入れたあと1分以上待ってから拡張I/Fプリントを実行してください。拡張I/Fプリントが印刷されない場合は、プリンタの操作パネルの[オンライン]もしくは[リセット]を押して拡張I/Fプリントをキャンセルしてから、再度拡張I/Fプリントをやりなおしてください。

# 1 ユーティリティメニューを表示します。

ユーティリティメニューの表示方法については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書)を 参照してください。 **4** 付録

# 2 [◄]、[▶]を押して「カクチョウ I/F プリント」を選択したあと、[▼] を押します。

拡張 I/F プリントが印刷されます。

# インテリジェントコントローラを設定する

インテリジェントコントローラは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されていま す。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通 常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないとき は、インテリジェントコントローラのディップスイッチを設定してください。ディップス イッチの設定は、プリンタの電源をオフにしてインテリジェントコントローラを取り外して から行います。インテリジェントコントローラの取り外しの作業には、プラスドライバが必 要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。接続したネットワークの 通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないよう に気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないで ください。



■ ネットワークの通信速度/転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度/転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード (工場出荷時の設定)	
10BASE-T/半二重モード に固定する場合	1     2     3     4     ON       OFF     ↓     OFF
10BASE-T/全二重モード に固定する場合	
100BASE-TX/半二重モード に固定する場合	1     2     3     4       I     I     I     I       I     I     I       I     I </td
100BASE-TX/全二重モード に固定する場合	1     2     3     4       I     I     I     I       I     I     I       I     I </td



# **4** ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.4-6 の表を 参照してください。



# **5** インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要 •基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

- インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。
- 6 インテリジェントコントローラの両端を、付属の2本のネジで固定します。

**7** LAN ケーブルや電源コード、アース線を接続します。

4

付録

# インテリジェントコントローラの初期化

インテリジェントコントローラを初期化したいときは、次の手順でインテリジェントコント ローラのディップスイッチを切り換えます。ディップスイッチを操作して、インテリジェン トコントローラを初期化した場合、ネットワークの設定値が工場出荷時の値に戻され、プリ ンタのファイルシステムがフォーマットされます。次の作業には、プラスドライバが必要で す。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

- ディップスイッチを操作して、インテリジェントコントローラを初期化した場合、プリンタのファイルシステムがフォーマットされ、プリンタにインストールされているアプリケーションやライセンスファイル、アプリケーションから作られたファイルシステム内に保存されているデータが削除されます。また、SMSのログインパスワードも工場出荷時のパスワードに戻ります。ネットワークの設定値のみを工場出荷時の値に戻したいときは、プリンタの操作パネル、Webブラウザ(リモート UI)、FTP クライアントのいずれかの方法で行ってください。
  ・プリンタの操作パネル:
  - 照してください。 ・Web ブラウザ(リモート UI): 「リモート UI ガイド」(PDF 取扱説明書)を参照して ください。 ・FTP クライアント: 「ネットワークガイド/本編」(PDF 取扱説明書)を参 照してください。
  - 1 プリンタの電源をオフにします。
  - **2** LAN ケーブルや電源コード、アース線を取り外します。
  - **3** 2本のネジを外して、インテリジェントコントローラを取り外します。
- 重要 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。
     (→プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。(→プリン タまたはオプション品に付属の取扱説明書)

# **4** ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



● 重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないよう に気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないで ください。

# **5** インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

- 重要 •基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

- 6 インテリジェントコントローラの両端を、付属の2本のネジで固定します。
- 7 電源コード、アース線を接続します。
- 3 プリンタの電源をオンにして1~2分待ったあと、プリンタの電源をオフ にします。
- **9** 電源コード、アース線を取り外します。
- 10 インテリジェントコントローラを取り外し、ディップスイッチ1をオフ側 に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないよう に気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないで ください。

11 インテリジェントコントローラを取り付けます。

**12** LAN ケーブルや電源コード、アース線を接続します。



# 主な仕様

# 、ハードウェア仕様

CPU	RISC 100MHz
ROM	32 MB(フラッシュ ROM)
RAM	64 MB(インテリジェントコントローラ NB-J1)
ネットワークインタフェー ス	10BASE-T/100BASE-TX 共用(RJ45) 全二重・半二重
プリンタインタフェース	拡張インタフェース
USB ホストインタフェース	USB1.1 * USB ハブ・切替器等を接続して、USB 機器を使用することはでき ません。
DC 電源	DC5V IN 500mA
ランプ	3個(ERR、LNK、100)(インテリジェントコントローラ NB-J1)

● 重要 本製品に USB 機器を接続する場合、本製品の USB ホストインタフェースから USB 機器へ最大 150mA の電流を供給することが可能です。USB 機器を接続する前に、USB 機器に付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続する USB 機器がバスパワードデバイス (USB 機器の動作に必要な電力を USB ホストインタフェースから供給されることにより動作する USB 機器)の場合には、USB 機器の消費電流をご確認ください。 接続する USB 機器の消費電流が 150mA 以下の場合、外部電源は必要ありません。 150mA 以上の場合には、必ず次のいずれかの方法で電力を確保してください。

> ・オプションの AC アダプタをインテリジェントコントローラに接続する。オプションの AC アダプタを使用した場合、本製品の USB ホストインタフェースから最大 500mA の電流を供給することができるようになります。

·USB 機器の動作に必要な電力を AC コンセントなどから USB 機器側で確保する。

# 、ソフトウェア仕様

対応プロトコル	TCP/IP
TCP/IP	フレームタイプ: Ethernet I プリントアプリケーション:LPD、FTP、RAW、IPP、BMLinkS

索引

# 英数字

100BASE-TX, 2-3 100 ランプ, 2-5 10BASE-T, 2-3 DC ジャック, 2-5 ERR ランプ, 2-5 IPP の特徴, 3-25 LAN コネクタ, 2-5 LNK ランプ, 2-5 LPD の特徴, 3-23 Raw の特徴, 3-24 USB ホストコネクタ, 2-5

# あ

4

付録

印刷を行うコンピュータの設定,3-21 プリンタの接続方法(LPD/Raw),3-26 プリントアプリケーションの選択,3-21 インテリジェントコントローラ 各部の名称と機能,2-5 初期化,4-8 設定,4-6 取り付け,2-6 取り付け,2-6 取り外し,4-2 パッケージの内容を確認,2-2 主な仕様,4-11 ソフトウェア仕様,4-11 ハードウェア仕様,4-11

# か

各部の名称と機能, 2-5 ケーブルを用意する, 2-3

# さ

ソフトウェア仕様,4-11

# た

通信速度,4-6 ディップスイッチの設定,4-6 テストプリント,4-5 転送モード,4-6 トラブル,4-3

# な

ネットワークで使用するために必要な作業, 1-3

# は

ハードウェア仕様,4-11
必要なシステム環境,1-2
プリンタ接続コネクタ,2-5
プリンタの接続方法(LPD/Raw),3-26
プリンタのプロトコル設定,3-6
プリンタのプロトコル設定の準備,3-2
プリントアプリケーションの選択,3-21

# ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョ ンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口 は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了 解いただいたものとさせていただきます。

# 情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことがで きます。通信料金はお客様のご負担になります。

### ■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

# 、ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キャノンホームページ (http://canon.jp/) キャノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

### ■ CD-ROM の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料 (代金引き換え) にてお届けい たします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお 客様相談センターへご注文ください。

•対象エリアは日本国内とさせていただきます。



# 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くの キヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、 下記**お客様相談センター**までご相談ください。

# 修理サービスのご相談窓L

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。 ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。



キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター(全国共通番号)

# 050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00~20:00 <土日祝日> 10:00~17:00 (1/1~3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ:http://canon.jp

© CANON INC. 2005